

新型コロナウイルス感染拡大防止における入試対応について

【試験前日まで】

①体調管理及び医療機関での受診

体調管理に十分注意を払い、試験 2 週間前より検温を心がけ、発熱や咳などの症状がある場合は、事前に医療機関で受診してください。

②受験ができない者

- ・新型コロナウイルスに罹患し、試験日まで入院中の者、自宅待機を命じられている者、医師から治癒していないと判断されている者、保健所等から濃厚接触者に特定されている者は受験できません。
- ・試験前から継続して発熱・咳等の症状のある者は受験ができない場合がありますので、アドミッションセンターまでご連絡ください。
- ・学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し治癒していない場合は、原則として受験することができません。

③受験の振り替え

②において受験ができなかった場合には、当初予定していた受験を取りやめ、以降の試験日程（※）に振り替えての受験が可能です。速やかにアドミッションセンターまでご連絡ください。

※以降の試験日程に振り替える場合、出願資格を満たすことが条件です。また、3月の試験に対する振り替えはありません。検定料については、1回に限り充当します。

④ワクチンの接種

他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、インフルエンザワクチンその他の予防接種を受けておくことが望ましいです。（文部科学省「令和3年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドライン」より）

⑤「新しい生活様式」等の実践

日頃から、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「3つの密」の回避などを行うと共に、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけてください。

【試験当日】

①マスク着用

試験会場では、昼食時を除き、各自マスクを着用してください。ただし、受験生確認の際のみ、監督者、面接員の指示に基づき、一旦マスクを外してください。

②受験票確認

入構時に受験票による本人確認を行います。また、検温を実施いたしますのでご協力ください。

③発熱・咳等の症状のある受験生

発熱・咳等の症状のある受験生は、試験当日の検温で37.5度以上の熱がある場合、当初予定していた受験を取りやめ、以降の試験日程（※）に振り替えての受験が可能です。但し、振り替えが難しいなど特別な事情がある場合には、速やかにアドミッションセンターまでご連絡ください。

※以降の試験日程に振り替える場合、出願資格を満たすことが条件です。また、3月の試験に対する振り替えはありません。検定料については、1回に限り充当します。

④付添者の入構について

試験当日の付添者の入構はできません。受験生への付き添いが必要な場合には、事前にアドミッションセンターまでお問い合わせください。

⑤試験会場の換気

試験会場の換気のため、休憩時間等は窓を開放します。なお、冬場においては上着など暖かい服装を持参してください。

⑥試験当日の昼食

午前・午後にまたがる試験の場合は昼食を持参し、自席で食事をとってください。休憩時間や昼食時等における他の受験生との接触、会話は行わないでください。

⑦手指消毒

試験会場への入退出を行うごとに、必ず試験会場入り口に設置してある速乾性アルコール製剤等で手指消毒を行ってください。

⑧試験終了後

退出の指示があるまで着席のままお待ちください。

⑨その他

ゴミ箱の設置はありません。試験会場内では、マスクやティッシュ等のゴミは廃棄せず各自持ち帰ってください。